

啐啄同機



大阪市立榎本小学校

10月26日

NO、23

奇跡を起こす方程式

プロゴルファーである古市忠夫をご存じでしょうか。

2000年に59歳11カ月でPGA認定のプロテストに合格、奇跡の「還暦ルーキー」と呼ばれてその活躍ぶりが注目され、映画化もされました。

そのプロテストには全国から2000人が受けて、4日間3オーバーまでの60人が合格しました。90%以上が20代で、40歳も年齢が離れた若者に60歳になる古市さんがなぜ勝てたのか。「技術でも才能でもない。心技体と言うように体力や技術よりも大切なのは「心」だと古市さんは言います。

古市さんの考える奇跡の方程式は、

奇跡＝才能×努力×感謝力 です。

以下が、この方程式の考えのもとになった古市さんの持論です。



阪神・淡路大震災に遭うまでは、どんな状況でも不撓不屈で頑張ることのできる人が勇者だと思っていました。でも真の勇者は、頑張れることへ感謝できる人なのですね。不思議とプロテストを見ていても、通る、通らないが大体わかります。

どこで見極めるかといえ、感謝力が強い人はきちんと挨拶をします。こちらが一礼して「おはようございます」と挨拶しているのに、首だけでペコッとかいうのはあいさつではありません。

それから歩き方です。大地を踏みしめて、胸を張ってスーッと歩ける人は通ります。どんなミスをして、頑張れることへの感謝ができる人はオドオドしません。

震災で多くの物を失いました。しかし、本当に大切なのは、物やお金ではない、地位や名声でもない。人の愛であり、優しさであり、人を思いやる心であり、感謝であり、積極的な心だと分かりました。

どんな時でも正直に悔いなく感謝の心を持って生きるとものすごいパワーが生まれて奇跡が起きる。誰が奇跡を起こしてくれるのか？周りの人です。自分の力では奇跡は起きません。いくら私が頑張っても映画はできません。上映会にタイガーウッズを呼んで、一緒にゴルフはできません。奇跡は周りの人が起こしてくれるのです。

感謝は人の心を大きく、美しく、そして強くします。いくらゴルフが上手でもプロにはなれません。強い人がプロになるのです。強い人はいつも周りに感謝しています。だからますます強くなる。いろいろなプロを見て強くそう思います。

「ありがとう」の取り組みを進めています。60人～70人の子ども達が毎日10人以上に「ありがとう」と感謝を言葉に口にしていきます。

玄関掲示の「ありがとうの実」もたくさん実ってきました。

榎本の子ども達には、「ありがとう」が素直に言える人になって欲しいと願っています。

榎本小学校 校長 篠崎 勇